

2 子どもの生活の状況

(1) 起床・就寝時間

登校日の起床時間は午前7時前が86.2%、就寝時間は午後9時台が61.1%

平成22年出生児について、登校日の起床・就寝時間を第6回調査（平日）と比較すると、起床時間は午前7時前が42.8%から86.2%に上昇している。同様に就寝時間では午後9時前が25.9%から28.7%、午後9時台が54.6%から61.1%に上昇している。（表1）

また、平成13年出生児（第7回）と比較すると、起床時間については、登校日及び日曜日のいずれも午前7時前の割合が上昇しており、就寝時間については、登校日は午後9時前が、土曜日は午後9時前及び午後9時台の割合が上昇している（図3）。

表1 子どもの起床・就寝時間（平成22年出生児）

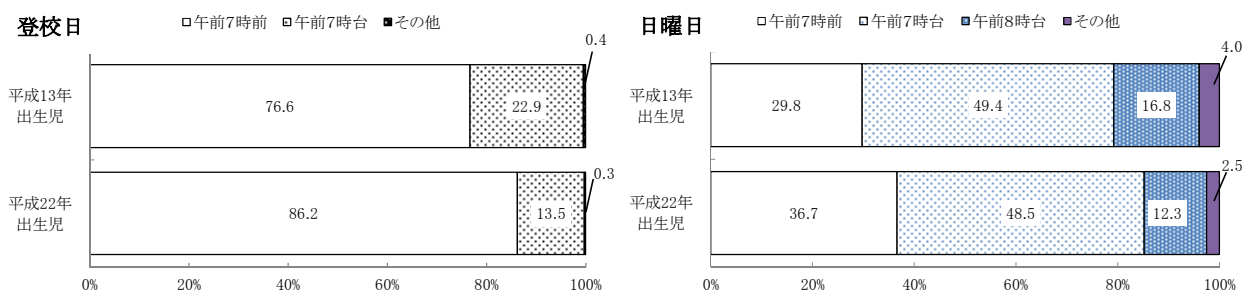
(単位:%)

	総数	午前7時前	午前7時台	午前8時台	午前9時以降	時間が不規則	不詳
起床時間							
第6回調査(平日)	100.0	42.8	51.3	5.2	0.1	0.1	0.4
第7回調査(登校日)	100.0	86.2	13.5	0.0	0.0	0.0	0.2
就寝時間							
第6回調査(平日)	100.0	25.9	54.6	16.9	1.6	0.4	0.6
第7回調査(登校日)	100.0	28.7	61.1	9.2	0.5	0.2	0.3

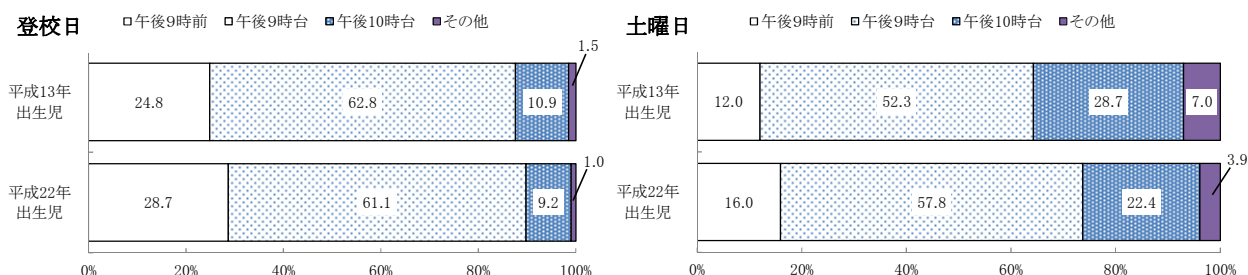
注：各回調査の回答を得た者（第6回調査総数 27,785、第7回調査総数 25,397）を集計。

図3 子どもの起床・就寝時間の世代間比較

【起床時間】



【就寝時間】



注：第7回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数 36,785、平成22年出生児総数 25,397）を集計。

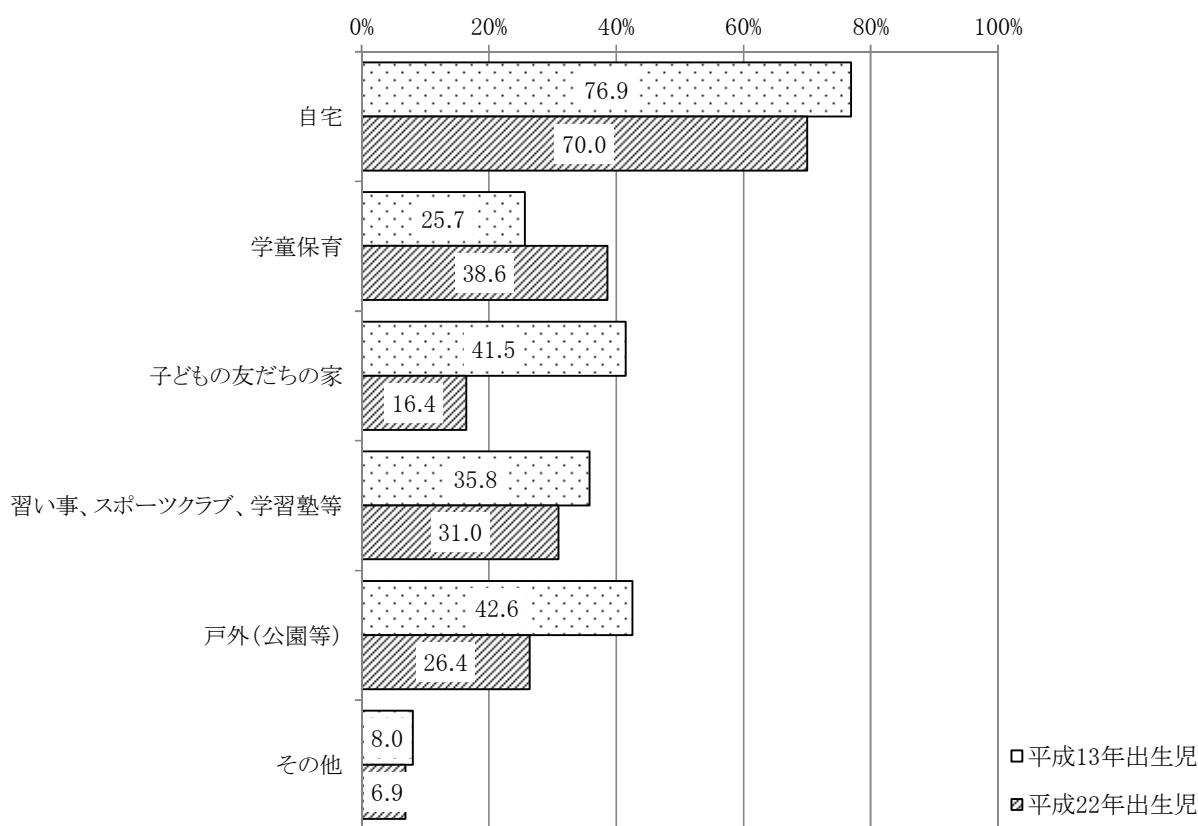
(2) 放課後に過ごす場所

放課後に過ごす場所は、「学童保育」の割合が38.6%と、平成13年出生児（第7回）の25.7%に比べて12.9ポイント高い

平成22年出生児について、放課後に過ごす場所（複数回答）をみると、「自宅」が70.0%と最も高く、次いで「学童保育」38.6%、「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」31.0%の順となっている。

また、平成13年出生児と比較すると、「学童保育」の割合が12.9ポイント高くなっており、それ以外は低くなっている。（図4）

図4 放課後に過ごす場所の世代間比較（複数回答）



注：1) 第7回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数 36,785、平成22年出生児総数 25,397）を集計。

2) 「放課後」とは、ふだんの下校から午後6時頃までの間をいう。